

おいどんげだね!!

2015年11月15日

万代地域コミュニティ協議会

発行者：丸田 喜也

新潟市中央区天明町19-16

= 単身人口増加と居住年齢の若年化町内会の課題 =

萬代橋町内会 栗山 和広

萬代橋町内会会長：栗山 和広

私は平成26年4月、萬代橋町内会の会長を仰せつかりました。



それまで町内会このお付き合いは家内にかかせつきりにしていただ

め、諸々訳のわからないままの今日ですが、町内の皆様に支えられて何とかやっております。地域の皆様に心より感謝申し上げます。

萬代橋町内会は、萬代橋東詰から東港線を背骨に柳都大橋付近までの万代3・4丁目地域です（4丁目一部を除く）。会エリアには、新潟市のランドマークのトップを競う萬代橋、信濃川があり、万代シティ、朱鷺メッセが隣接しています。また近年は、新潟日報メディアシップ、加賀田組本社、マクドナルド万代店、万代テラス、コンビニエンスストアの登場や新築マンションの増加などで人の往来が増え、街の姿が大きく変わりました。県外、外国の方々も多く、この地域は今や新潟市の代表的な顔と言えるでしょう。

町内会の構成は、世帯数約3

50世帯、人口約700人と約30社の事業所。世帯は圧倒的なウエートを占める共同住宅と20戸位の戸建て住宅です。

当会には、目下日本の、新潟県の最大の悩みである人口減、高齢化問題は、「今現在」はありませんが、世帯・人口増の主な要因が、100室を超える新しい、主に単身者用マンションの増加によるものだからです。今年の当会の敬老祝（対象65歳以上）は52名、微増でした。来年は10名近く増える予定ですが、全体の世帯の増加、若返り化のため、数年前と比較してお年寄り比率は大きく下がっています。

あ

ちこちから「高齢化、空き家の悩みがなくなっていくですね」という声をいただいています。単身人口の増加や居住年齢の若年化は、ウラを返せば、自治会活動の不活性化、質の低下、「薄さ」の拡がりの要因です。コミュニケーション不足は、何も自治会活動に限らず、今の時代、あらゆるところでの最大の課題です。

自治会の組織力・活動力はある日突然には高まりません。災害などに備え、子供、お年寄り、要支援者への日頃からのコタクトやゴミ拾い、雑草取りなどで街の美化に取り組むなど活動

を進めていきたいところです。マンパワー不足がちな町内会ですが、活動の報告を少々。ひとつは、万代長嶺小学校6年生の社会学習「信濃川・萬代橋―キッズガイドプロジェクト―」への支援です。6年前のスタート時から地域の主体的な応援団の役割を果たしてきました。また、セーフティ活動では、



キッズガイドプロジェクト発表風景

11月メディアシップ、朱鷺メッセなどで行います。是非見に来てください。6年目になりました。全国川サミットで発表好評でした。

町内のセーフティ担当部長さんをはじめスタッフの皆さんにご尽力いただき、毎朝集団登校の付き添いを実施しています。これからも、ほかの地域・自

治会の活動などを参考に進めていきます。よろしく指導お願い申し上げます



津波避難ビル協定締結施設

旧万代小跡地に係る工事説明会 中央区総務課、建設課主催 10月16日 万代市民会館

- 指定要件（耐震安全性が確認されていること。3階建て以上のRC造り、またはSRC造り。想定される津波浸水深に対して十分な高さが確保されていること、等等により万代地域では次の建物が協定締結されている。
- ① ANAクラウンプラザホテル3F 大宴会場1100人、② スーパーホテル新潟3F 6F 廊下200人、③ ドーミーイン新潟3F 7F 廊下640人、④ 万代島ビル（ホテル日航新潟）2,3,4F 共用部分1560人、⑤ 朝日プラザ栗の木3F 6F 廊下70人、⑥ バルトピア新潟3,3F 6F 廊下120人、⑦ アトール長嶺町。3F 11F 廊下70人、⑧ 新潟日報メディアシップ。2F 日報ホール、4F みどりの広場600人。

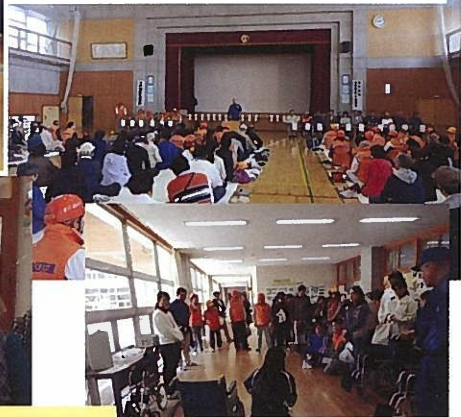


● A E D 取り扱いと心肺蘇生法の救護訓練 簡単な難しいイシ組み立て体験実はダンボール製です。



第9回総合防災訓練 不慮の災害に備えて

防災意識を高め、互いに助け合って災害に強い安心、安全な地域づくり
参加人数 217人(10月18日)
万代長嶺小学校体育館



こんなのがあったんだ!!、防災用折りたたみヘルメット 右上は発電機、投光器の操作訓練



新潟まつり 8月8日
毎年重ねて15回となりました。
住吉行列を先導しています。

今年も宮浦中生徒さんが応援参加してアルファ米の炊き出しを手伝っていただきました。婦人部

車椅子搬送訓練：社協



川村奉行行列：江東地区新潟まつり実行委員会

沼垂祭り 喧嘩灯籠

沼垂白山を出発し、四つ角で灯籠押し合い 8月16日



住吉行列みこし渡御(水産物物揚場)

老いも若きも 力がはいてます。
三世交流大運動会(小学校10月4日)
主催：小学校区スポーツ振興会



左はBRT実施前、右はその後。路線の変更と休日の運行ダイヤに大きな差があります

地域探索 BRT(バスラビツ トランジット)9月5日(開業)万代町
通り東総合庁舎前のバスダイヤについて



水と土の芸術祭
つかますやすらぎのこころ
すくすく入ると中ハ
こころがはあみま
こころがはあみま
こころがはあみま

みやの万代ぶつぷつ

楽しくのばそう健康寿命

元会社のOB会では健康運動指導士、インストラクターの高嶋善史氏の講演と実技指導を開催した。参加者は当然60代~70歳の中老年者「楽しく延ばそう健康寿命」がテーマ。日本人の平均寿命は女性86、83歳(世界1)、男性80、50歳(同3位)厚生労働省発表。一方で心身とも健康で認知症にもならず自立して元気に生活できる「健康寿命」は女性74、21歳、男性71、19歳で平均寿命と比べてその差は12~9歳もあります。ただ生きることでなく、生きがいをもってよく生きることが大切。なによりも健康であること。生命維持活動を実施し、行動体力、作業体力をつけて生命能力を上げる。高嶋講師の専門である運動して健康づくりの話は参考になりました。たまたま10月12日付け日報にスポーツ庁が2014年度体力、運動能力調査の結果を公表した。それによると高齢者75~79歳が男女で最高得点であった。やはり健康志向の高まりであるようだ。高齢者は運動習慣がある人ほど高評価で、健康や日常生活の基本動作の維持、生活の基本動作の維持に、運動の習慣は重要としている。中高年真っ盛りのミヤはなんとか健康寿命で延命したいところだ。副会長：宮川 善徳

編集後記 第20号発行して

回覧板は自治会活動参加の窓

地域コミュニティ活動にはさまざまな組織があります。自主防災活動、環境美化、親睦交流、交通安全、子供見守り、高齢者見守り、伝統文化継承活動など。配布される回覧板文書の数はますます膨大です。きっとそれぞれの「自分の居場所と出番」を見つけた大切な情報源となります。チャンスを見逃さないで!!

広報委員長：田所 暁雄